

# 会議記録

政策企画局 まちづくり協働課

開催日	平成 21 年 2 月 20 日(金)	開催時刻	13 時 30 分から 15 時 40 分
会議名	上田中央地域協議会(平成 20 年度第 12 回)		
出席者	小林会長、白石副会長、浅井委員、安藤委員、飯島委員、池田委員、一之瀬委員、岡田委員、荻原委員、栗田委員、栗俣委員、佐藤委員、塩入委員、田口委員、竹田委員、中村委員、森田委員、安井委員 (欠席委員) 岩外委員、山極委員 (事務局) 浅野まちづくり協働課地域振興政策幹、小宮山まちづくり協働課課長補佐、堀内まちづくり協働課主査		
会議次第			
1 開会(浅野まちづくり協働課地域振興政策幹)			
2 会長あいさつ(小林会長) 2 月のはじめに、経済産業省主催の中心市街地活性化シンポジウムが開かれた。中心市街地の賑わいを取り戻すための主な視点として、「賑わいあふれるまち、商業だけでなく、居住、公共施設、事業者等も集まったまち」「歴史や資源を生かしたまち、地域の歴史資源や文化を生かしたまち」「アクセスしやすいまち、だれもが移動しやすく、過度に車に頼らないまち」というお話だった。我々も歴史問題、環境問題をまとめて提言をしていきたいと思っている。 我々に課せられた課題というものを重く受け止め、取り組まなければいけないと感じた。今日もよろしく願いたい。			
3 会議事項			
(1) 石井鶴三美術館について			
【説明要旨】			
石井鶴三さんの書簡やデッサン等数万点が、松本市美術館に寄贈になるという。我々が声を上げて行かないと、歴史的資料も流出してしまう。			
【主な感想等】			
(会長) 2 月中旬に上田ふるさと先人館の設置を要請した。上田の宝が、外では有名だが、上田では関心をもたれていない。関心を持ってもらえるよう、我々も声を大にしていかななくてはいけないと感じた。			
(2) 上田地域協議会事務処理マニュアルの変更点について			
事務局より説明			

(3) わがまち魅力アップ応援事業の選考調書の変更内容について(事務局から)

【説明要旨】

- ・個性あるふるさとづくり応援事業の選考審査調書  
前回の選考ポイントが不明確ということで、内容を具体的に示した。
- ・特色あるまちづくり応援事業の選考調査書  
採点基準を3段階から5段階にした。選考項目も10項目から5項目に絞って検討していただくようになった。

【質疑等】

- (委員) 自治会関係は前回からほとんど通していると思うが、同じ10分間のプレゼンテーションを行う必要性はあるのか。
- (事務局) 予算・事業の危険性等、皆さんに意見を出していただき、計画に無理や無駄がないか等、より改善した内容にしていただければと考えている。
- (事務局) 20年度の事業では、採択をされてから案を練るところが多かったので、きちんと計画がまとまっているかも判断して欲しい。
- (委員) 事業の結果を報告書などで提出していただいて、進行状況を見たい。
- (事務局) 継続事業については、3月に報告書を提出する事になっている。皆さん方には一覧表にして、ご報告したいと思っている。

(4) 分科会協議

【協議内容】

- ・第一分科会：歴史的な資源を保全・活用したまちづくり  
文化財関係・文学関係・映画などに登場した場所などを挙げて確認した。特に歴史文化関係を中心に、北国街道や蚕都の関係、景観がいい場所などをリストアップして地図に記入する。その後、いくつかのコースに分けて見学・確認し勉強することになった。
- ・第二分科会：自然環境保護及びごみ減量化問題  
ごみ減量のアンケート調査を行い、中央地域の現状を把握したいので、ご協力をお願いしたい。  
4月以降に視察を考えている。委員の皆さんにご出席いただき、ごみ問題について一緒に考えていきたい。

4 その他

- ・次回会議の開催  
平成21年3月13日(金)開催予定

閉 会